

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	舞鶴市			代表者名	鴨田 秋津
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	政策推進部デジタル推進室デジタル推進課	連絡先電話番号	0773-66-1092
担当者役職	係長	担当者氏名	佐々木 周平	連絡先E-mail	
住所	625-8555 京都府舞鶴市字北吸1044番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	基盤ネットワークシステムの更新
概要	新たな働き方改革のためのネットワーク・セキュリティモデルの見直し検討作業にかかる伴走支援		
支援を求める分野	自治体セキュリティ ネットワークインフラ		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	85	令和6年10月15日	支援・助言	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年8月9日	支援・助言(実地)	10時00分	16時00分	60
				活動時間(分)	300
2-2.	会場名	舞鶴市役所	最寄駅	東舞鶴駅	
派遣場所	所在地	京都府舞鶴市字北吸1044番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中窪 悟
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	GWSの導入及び改善にご自身で取り組まれているため、その経験に基づく貴重なご助言をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	第3回の支援につきましても、引き続きよろしくお願ひいたします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	5人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	5	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	新しい情報システム基盤を実際に移行・運用する際のイメージとそのセキュリティ対策についての解像度を上げる。
---------------------------	------------------------------------------------------

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	システム移行の詳細について担当者自らがより理解を深め、首長以下職員に対して十分な周知を図ることですスムーズなシステム基盤の移行を行う。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	GWS環境への移行作業を進める中で、直面している課題について支援を受けた。 ネットワーク構成、セキュリティクラウド、庁内のファイル管理、外部とのファイル共有など	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 設計しているネットワーク構成とセキュリティクラウドの関係性及び検討案について整理 移行後のファイルの管理や外部との共有に関する方針について整理 今後の移行作業で発生する課題について整理 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	なし	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> 新システム基盤におけるセキュリティモデルと、情報セキュリティポリシーガイドラインとの整理 新システム基盤による既存アプリケーションとの事前検証が遅れているため、具体的な課題抽出 現行ファイルサーバーからのデータ移行に関する内容とスケジュールについてこれから詳細な検討 	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回の支援は、システム更新についてシステム担当の特定の職員が助言を受けるものであり、アンケートの実施の必要性がないため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する 今年度中に新システムを稼働させるため、ベンダーによるシステム構築、既存アプリケーションの事前検証を進め、庁内職員に新システムを周知するとともにセキュリティ意識の向上を図る。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	GWS環境への円滑な移行	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

